

取扱説明書

《注意事項》

初回の入庫について

ご契約後は現況有姿でのお引渡しとなります。リアオーバーハング、タイヤ幅、最低地上高等車検証には記載の無いサイズもあることから、使用するお車のサイズが駐車場のサイズ制限内かどうかは必ず現地にてご自身でご確認ください。

初回入庫時には事前にサイズを確認の上、十分注意をして入出庫をお願いいたします。試し入れ時や契約後に事故等が発生した場合、貸主及び管理会社並びに保証会社では一切の責任を負いかねます。

《遵守事項》

使用者は本駐車場においては下記事項を守らなければならない。

※月極駐車場一時使用契約約款内の「遵守事項」より抜粋

- (1) 引火性物件その他危険物を持ち込まないこと。
- (2) 火気の取り扱い等をしないこと。
- (3) 車両の出入りの際は駐車位置、交通規制等の駐車場内の秩序について、管理者の指示に従うこと。
- (4) 車両の運転に当たっては安全運転をすること。
- (5) 甲又は丙の許可を得たもの以外、物品の販売、自動車の修理（簡易な修理を除く）その他秩序を乱す行為は一切行わないこと。
- (6) 駐車場において物件を損傷し又は事故を起こしたときは直ちに甲又は丙に届け出ること。
- (7) 駐車場内に空き缶・タバコの吸殻等を廃棄しないこと。
- (8) 他の車両の駐車位置を侵さないこと。
- (9) 予め駐車場の取扱説明書を確認し、その記載事項に従うこと。
- (10) その他甲又は丙の定める一般的な指示に従うこと。

以上

AT PARK

運 転 操 作 取 扱 説 明 書

立体駐車場運転操作者向

AST-MM-34

日本ケーブル株式会社

はじめに

このたびは、日本ケーブルの **AT PARK** をご利用いただきありがとうございます。

この「取扱説明書」には、利用者の方々に安全で快適にご利用いただくために、操作方法および操作に必要な注意事項が記載されています。

AT PARK を安全にご利用いただくためにも、ご利用の前に本書を必ずご熟読ください。

本書をお読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

- ◎ この「取扱説明書」の内容は駐車場管理者および専任の運転操作員の方向けに作成しています。駐車装置の運転操作は、必ず **AT PARK** の運転操作に関する知識を持った方が行ってください。
特定の運転操作者（契約者）が操作する場合は、必ず **AT PARK** の運転操作に関する知識を持った駐車場管理者から、操作方法・非常時の対応・取扱い上の注意事項等について、特定の運転操作者（契約者）は教育を受けてください。
- ◎ 特定の運転操作者（契約者）が操作する場合は、駐車場管理者が定めた管理規定を必ず守ってください。
- ◎ 取扱説明書以外の操作による事故や故障に関する責任は一切負いません。
- ◎ 駐車場内に点検員または他設備の作業員等が入る場合は駐車装置の運転を休止してください。

お読みになる前に

この「取扱説明書」では、製品を安全にお使いいただき、あなたや、この製品をご使用になる方々への危害、財産への損害を未然に防止するために、ご使用の際に守っていただきたい事項について、「マーク」で表示しています。

この「マーク」の意味を十分にご理解のうえ、この「取扱説明書」をお読みいただくようお願い申し上げます。

マークの区分

この製品および取扱説明書では危険事項を以下のマークで表示しています。



危険

この事項に従わないと死亡または、重大な傷害に至ることを示しています。



警告

この事項に従わないと死亡または、重大な傷害の可能性のあることを示しています。



注意

この事項に従わないと負傷または、物的傷害の発生が想定されることを示しています。

AT PARKには、各種の安全装置が設置されていますが、運転操作する方は、安全確保のため下記の注意事項を守り十分気を付けて操作を行なってください。



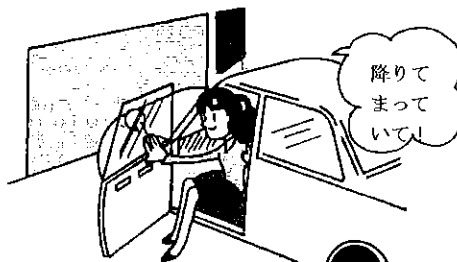
危険

- 手動運転モードは、使用しないでください。

手動運転モードは、各安全装置を解除しての運転ですので、死亡または重大な事故の恐れがあります。

- 入出庫時、ドライバー以外は駐車場内に入らないでください。

安全装置が正常に働かず、死亡または重大な事故の恐れがあります。



- 駐車場内に人がいる時は絶対に操作をしないでください。

駐車装置との接触や、巻き込み等による死亡または重大な事故の恐れがあります。

- 駐車場管理者より教育を受けた方以外は駐車装置の運転操作を絶対にしないでください。

誤操作、お子様のいたずら等により、死亡または重大な事故の恐れがあります。



- 運転者や同乗者（赤ちゃんや子供を含む）が自動車車内にとりのこされていないことを確認してください。

自動車車内に人がいる場合の検出装置はついていません。

人を乗せたまま駐車装置へ格納され、死亡または重大な事故の恐れがあります。

- 自動車入出庫後、駐車場内や車内に人がいないこと、障害物がないことを必ず確認し、完了ボタンを押してください。

完了ボタンを押すとパネル扉が閉まり、駐車装置が動きます。人や障害物を取り残された場合、死亡または重大な事故の恐れがあります。

- 駐車場内にとりのこされた時には、必ず非常停止ボタンを押し、すみやかに避難口扉から駐車場の外に退出してください。

駐車装置との接触や、巻き込み等による死亡または重大な事故の恐れがあります。


- 駐車場内に危険物を持ち込まないでください。また、危険物を積んだ自動車を入庫させないでください。死亡または重大な事故の恐れがあります。

- 火災時以外、消火設備を起動しないでください。

駐車装置に備えられている消火設備を起動した場合は、酸欠により窒息死する恐れがあります。

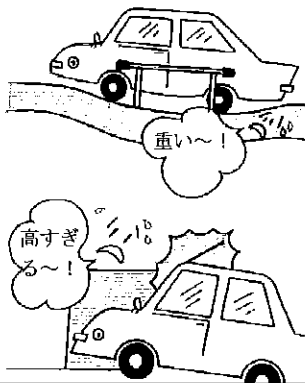



警告

- 駐車装置の分解や改造は絶対にしないでください。
駐車装置の機能が正常に働かず、事故や故障の恐れがあります。
当社では改造による事故や故障に関する責任は一切負いません。
- 入出庫時は最徐行するようドライバーに注意をうながしてください。
駐車装置との接触、タイヤ・ホイールの破損、パネル扉、案内カガミへの衝突の恐れがあります。
- 入出庫は自動車運転免許証を持っている方が行なってください。
自動車の運転操作を誤り、自動車や駐車装置を破損する恐れがあります。
- ルーフキャリアや後部にスペアタイヤ等を取付
けている自動車を入庫させないでください。
駐車装置との接触により、キャリアや自動車、
駐車装置を破損します。

- 駐車装置が運転しているときは、パネル扉には手を触れないでください。
パネル扉の開閉の際、挟まれ、巻き込まれ事故の恐れがあります。
- 外置きターンテーブルのある駐車場をご利用の場合、回転半径内に人や障害物が無いことを確認して操作してください。
巻き込み等による、死亡または重大な事故の恐れがあります。



注意

- 入庫前に必ずアンテナを収納または取外してください。
駐車装置との接触によりアンテナを破損します。
- 制限重量を超えた自動車を入庫させないでください。
駐車装置に無理な力がかかり、事故や故障の原因になります。
- 制限寸法を超えた自動車(アンテナ等を含む)を入庫させないでください。
駐車装置との接触により、自動車や駐車装置を破損する恐れがあります。
収容車制限寸法はVIページに記載してあります。

- ドアミラーは、必ずたたんでください。
ドアミラーが駐車装置に接触し、自動車を破損する恐れがあります。
- リヤミラー、各種アタッチメント等のアクセサ
リー装着車は入庫させないでください。
安全装置で検出できず駐車装置との接触により、
事故や故障の原因になります。




注意

- エアロパーツ装着車、トラック等の特殊な形をした自動車を入庫させないでください。
駐車装置との接触により、自動車や駐車装置を破損する恐れがあります。また安全装置が正常に働かず、事故や故障の原因になります。

- 入庫後、正規の位置に自動車を止め、パーキングブレーキをかけ、シフトレバーを P レンジ（マニュアル車は、ギヤをローまたはバック）に入れてください。エンジンは必ず止めてください。

駐車装置運転中に自動車が移動し、自動車や駐車装置を破損する原因になります。

（寒冷地では適切な車止め処置をしてください。）

- 駐車場内は火気厳禁です。

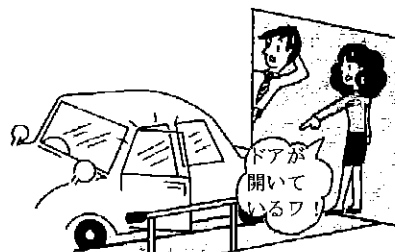
火災の原因になりますので、たばこの消し忘れ等に注意してください。

また、エンジンは停車後必ず止めてください。



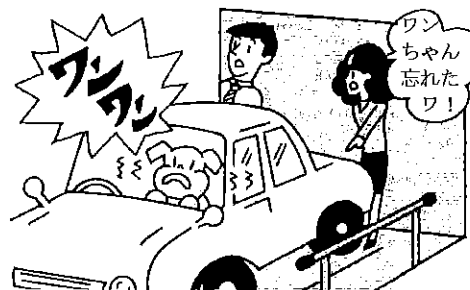
- 入庫後自動車のすべてのドア、ハッチバック、トランク等を確実に閉めてください。

ドア、ハッチバック、トランク等の閉め忘れにより自動車や駐車装置を破損します。また、駐車装置運転中にドアが開き、自動車や駐車装置を破損する原因になります。



- 車内にペットなどを置き去りにしないでください。

窒息等による事故が起きる恐れがあります。



- 駐車場内では荷物の積み降しを行わないでください。

安全装置が正常に働かず、事故や故障の原因になります。

- 操作前に、駐車場内に障害物が無いことを確認してください。

駐車装置との接触や巻き込み等による、事故や故障の原因になります。

- 駐車場内に雪や氷のある場合は、取り除いてください。

駐車装置の機能が正常に働かず、事故や故障の原因になります。



注意

- 駐車場内に物を置かないでください。

駐車装置の機能が正常に働かず、事故や故障の原因になります。

- パレットには自動車以外、乗せないでください。

安全装置が正常に働かず、落下物等により事故や故障の原因になります。

- 入庫の際は、盗難警報装置を切ってください。

駐車装置の運転により誤動作し、自動車のバッテリーが低下する恐れがあります。

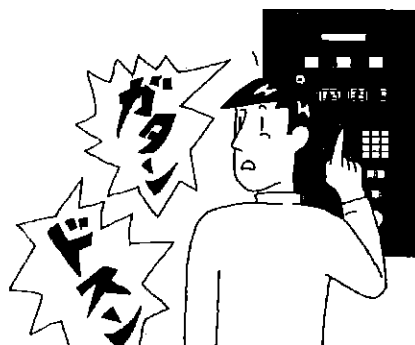
- 駐車装置の運転中に異音・異常等を認めた場合は
すぐに非常停止ボタンを押してください。

そのまま運転を続けると、被害を拡大する恐れがあります。

※ あらかじめ非常停止ボタンの位置を確認してください。

※ むやみに非常停止ボタンを押さないでください。

駐車装置が正常に動かなくなります。



- 契約運転モードの場合、契約車両以外は、入庫しないでください。

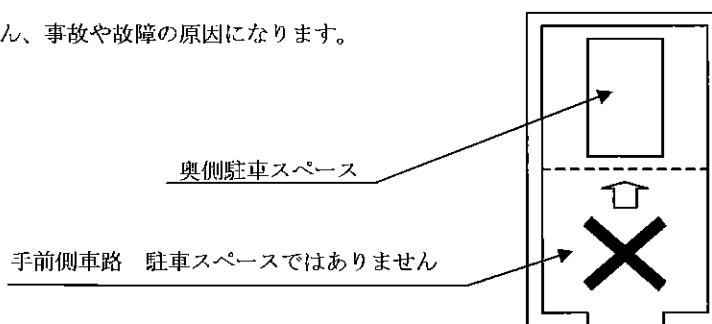
収容車制限寸法を超えた自動車が入り、事故や故障の原因になります。

- 契約運転モードの場合、出庫後、パネル扉の開いている状態で、入庫しないでください。
必ず完了ボタンを押した後、入庫操作をしてください。

暗証番号登録が正常に行なわれず、自動車が出庫できなくなります。

- 縦列タイプの駐車場をご利用の場合、奥側入庫の際の手前側通路(車路)に自動車を止めないでください。

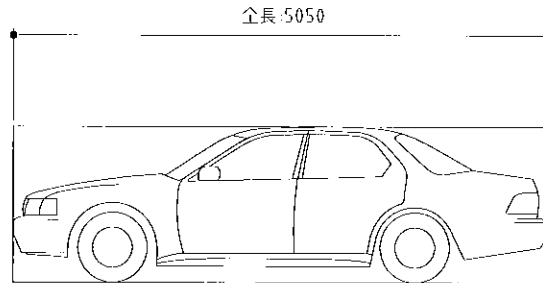
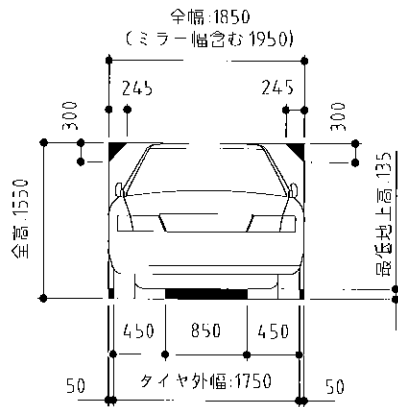
駐車スペースではありません、事故や故障の原因になります。



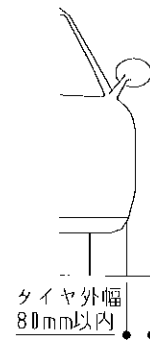
- 外置きターンテーブルのある駐車場をご利用の場合、回転させる前に、すべてのタイヤが
確実にターンテーブルに載っていることを確認してください。


無理な力がかかり、自動車や機械装置の故障の原因になります。

ご利用できる自動車



全長	5,050mm以下
全幅 (ミラー幅含む)	1,950mm以下
全高	1,550mm以下
最大重量	1,600kg以下
タイヤ外幅	1,750mm以下
最低地上高	135mm以上



 注意	<p>○ 収容車寸法は必ず実車にて確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 車検証と実車が異なる場合がありますので、車両サイズは必ず実車にて確認してください。 2. ドアミラーは必ずたたんで入庫してください。ドアミラーがたためない、またはたたんでも車体からはみ出る場合、上図の数値を超える自動車は入庫できません。 3. 上図の■の部分には入庫できません。 (車両形状、アンテナ等がこの部分にかからない事を確認してください) 4. ホイール、マフラー等がパレットと接触する場合は入庫しないでください。
--	--

《目次》

AT PARK

1. 運転操作盤の機能および名称	1
2. 操作手順・操作時の安全確認・安全装置の働き 契約運転モード	2
3. 消火設備について	4
4. 非常時の対応	5
5. 「故障かな？」と思ったら	6

1. 運転操作盤の機能および名称

電源キースイッチ

電源を投入するとき、入側にします。
電源表示灯が点灯します。

電源表示灯

電源が入ると点灯します。この表示灯が点灯しないと、全ての運転が出来ません。又、各モーターに不具合が生じたとき点滅します。

位置ずれ表示灯

停止位置がずれたとき、ドアガード装置が作動しないとき点滅します。

運転注意表示灯

ケージに搭載した自動車が、手前及び奥側にはみ出している時、車のドアが開いていたり塔内に人が居たりした場合、点灯して運転不能となります。

出入口ケージ表示器

出入口に着床しているケージの番号を表示します。呼びケージ表示とあわせて、契約運転の際の暗証番号(上2桁)を表示します。

照明点灯スイッチ

駐車場塔内1階の照明を点灯させます。

呼びケージ表示器

テンキー押しボタンにて指定された呼びケージの番号を表示します。出入口ケージ表示器と共に、暗証番号(下2桁)を表示します。又、故障時には、60~90番台の数字を表示します。

テンキーボタン

契約運転時:暗証番号打込みに使います。
クリアボタン:番号を間違えたときに使います。
空呼びボタン:自動運転入庫の際ボタンを押すと、搭載パランスを考えたボタンを自動選択表示します。

運転ボタン

契約運転時、暗証番号打込み後、押す事により循環運転を開始します。

予鈴ボタン

入出庫時、安全を確認した後ボタンを押すと運転予鈴が鳴り運転態勢に入ります。

完了(扉閉)押ボタン

契約運転時、出庫又は入庫が一行程終了すると点滅します。入出庫完了後、塔内の安全を確認し、このボタンを押して下さい。

非常停止押ボタン

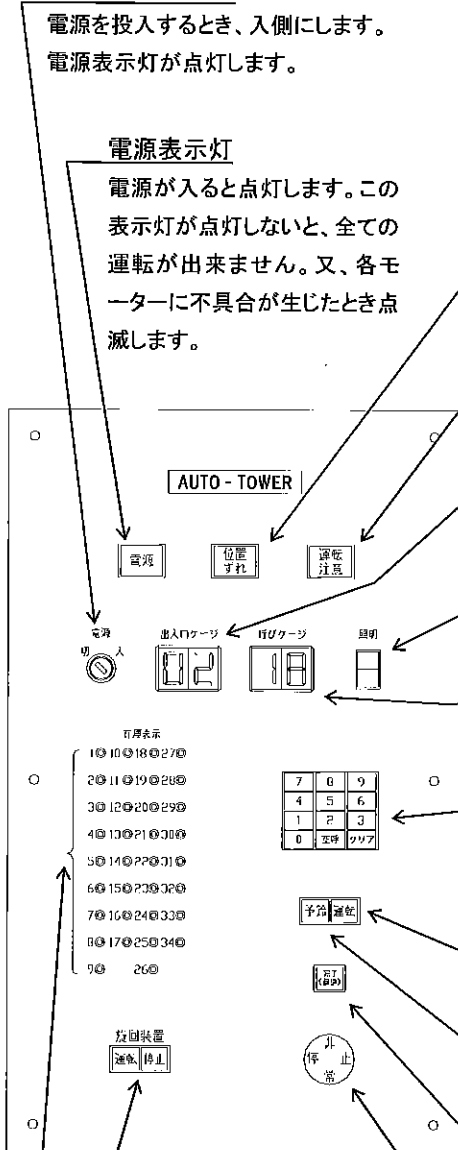
ボタンを押すと、電源がオフし全ての運転が停止します。復帰の際は、押ボタンを右(リセット)方向に回転させると飛び出して復帰します。

旋回装置運転ボタン

入庫している車を単独に旋回させることが出来ます。空ケージの場合は運転できません。

搭載表示灯









車をケージに搭載したことを記憶したとき点灯します。又、循環運転中、現在位置が点滅してインジケーターの役目をします。













2. 操作手順・操作時の安全確認・安全装置の働き

契約運転モード（運転に必要な教育を受けた特定の運転操作員の方が操作する場合）

入庫の場合

操作手順	操作時の安全確認	安全装置の働き
1. 自動車を駐車装置手前で停車させてください。	駐車装置手前で同乗者を降ろしドライバー1名のみ乗車としてください。	パネル扉が閉まっています。
↓	入庫前の安全確認	予鈴が鳴ります。
2. 操作盤の扉を開き、「予鈴」ボタンを押してください。	 危険 駐車場内に人がいないこと	
↓	 注意 駐車場内に障害物がないこと パネル扉が閉まっていること アンテナが出ていないこと	
3. テンキーボタンにより暗証番号を打ち込み、続いて「運転」ボタンを押してください。		
↓		
4. 駐車装置が循環し、ケージが出入口に着床します。		パネル扉が開きます。
↓		
5. 案内表示灯が「前進」を表示したら自動車をケージ内に乗り入れてください。	 注意 案内表示灯が「前進」であること	光電センサーで入庫を検出し案内放送が開始します。 同時に入庫インターロックがセットされます。
↓		
6. 自動車がケージ内の正しい位置に停車すると、案内表示灯が「停車」を表示します。「後退」を表示している時は自動車を後退させ、正しい位置に停車させてください。	 注意 正規の位置に自動車が停車していること 案内表示灯が「停車」であること	光電センサー(PI1・3)で車長検出、光電センサー(PI4)で飛び込み防止検出を行っています。 また、光電センサー(PI2)を除いた全ての光電センサーによって人や障害物の検出を行っています。 (駐車装置運転中は出入口階の検出は行っていません。)
↓	駐車装置内の安全確認	
7. パーキングブレーキをかけ、シフトレバーをPレンジに入れ(マニュアル車の場合はローまたはバック)、ドアミラーをたたみ、エンジンを止め、自動車のドアを閉め、駐車装置外に退出してください。	 危険 駐車場内に人がいないこと	
	 注意 ドアミラーを必ずたたむこと	
	 注意 駐車場内に障害物がないこと 自動車のドアが閉まっていること	光電センサーにて入庫インターロックがリセットします。
8. 「完了」ボタンを押して操作盤の扉を閉めてください。	 危険 パネル扉が閉まったこと	パネル扉が閉まります。

出庫の場合

操作手順	安全確認事項	安全装置の働き
1. 操作盤を開き、「予鈴」ボタンを押してください。 	出庫前の安全確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  危険 駐車場内に人がいないこと </div>	パネル扉が閉まっています。 予鈴が鳴ります。
2. テンキーボタンにより暗証番号を打ち込み、続いて「運転」ボタンを押してください。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  注意 駐車場内に障害物がないこと パネル扉が閉まっていること </div>	
3. 駐車装置が動作してケージが出入口に着床します。着床した出庫ゲージの車を旋回動作させたい場合は、旋回装置の運転を押して旋回させてください。 		パネル扉が開きます。
4. ドライバーのみが駐車場内へ入り自動車を駐車装置外へ出庫させてください。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  危険 駐車装置手前で同乗者を待機させ、ドライバー1名のみの乗車としてください。 </div>	光電センサーで人を検出し、インターロックがセットされ、また、出庫を検出してインターロックがリセットされます。
5. 「完了」ボタンを押して操作盤の扉を閉めてください。	駐車場内の安全確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  危険 駐車場内に人がいないこと </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">  注意 駐車場内に障害物がないこと </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">  危険 パネル扉が閉まったこと </div> 駐車場外への安全確認 歩行者への注意 車道への注意	パネル扉が閉まります。

入庫インターロックとは…

自動車を入庫したとき、ドライバーが駐車装置外へ退出するまで駐車装置が動作しないようにロックする保安機構です。光電スイッチ(PI3、4)により、その通過順序で入出庫および人の退出を検出し、インターロックの動作および解除を行っています。

したがって、駐車装置内に2名以上入った場合 や 駐車場内での荷物の積み降ろしを行なった場合 にはインターロックが正しく働かない場合がありますので、入庫時には同乗者全員を必ず駐車装置手前で降ろし、ドライバー1名が駐車装置内に入るようにしてください。 また出庫時にもインターロックが作動しますので、ドライバー1名が駐車場内に入り出庫するようにしてください。

3. 消火設備について

AT PARK には消防法により消火設備が備えられています。(本項では代表的な消火設備である二酸化炭素について記載しています。)

⚠ 危険

消火設備に使われている二酸化炭素ガスは、毒性はありませんが酸欠により窒息死する恐れがありますので、取扱いには十分注意する必要があります。

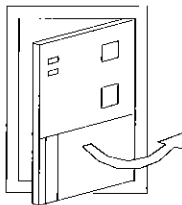
このため、消火設備の取扱いは管理者が行うよう徹底し、また契約運転の場合には管理者がいない場合でも、火災が発生した時一連の操作を行えるように、管理者から教育を受けてください。

火災発生から二酸化炭素ガス放出消火まで



火災を発見したら!?

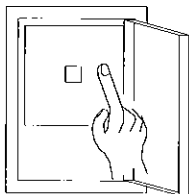
駐車場内に人がいないこと、本当に火災が発生していることを目で見て確認してください。



二酸化炭素起動盤の封印を破って蓋を開いてください。

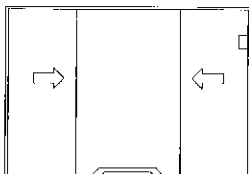
駐車場内に警報放送が流れます。

この時必ず駐車装置内に人がいないことを再度確認してください。

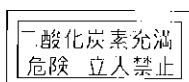


起動ボタン(消火ボタン)を押してください。

誤って押した時、駐車装置内に人を発見した時、すでに火が消えガスを必要としない時等は起動解除ボタンを押してください。



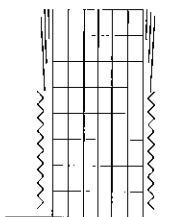
パネル扉が閉まります。



二酸化炭素ガスが駐車装置内に放出されます。

ガス放出後は、大変危険ですのですみやかに消防署に連絡をし、その指示に従ってください。

4. 非常時の対応



◎地震の時

すぐに駐車装置の運転を停止してください。

また、運転再開時には駐車場の管理者が必ず駐車場内の安全を確認するようお願いいたします。

震度5以上の地震があった場合は必ずメンテナンスサービスエンジニアの点検を受けてください。



◎雷、台風、大雨の時

運転はなるべくひかえてください。

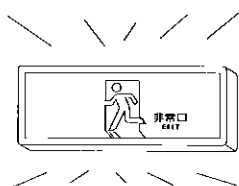
また、運転再開時には管理者が必ず駐車装置内の安全を確認するようお願いいたします。



◎火災の時

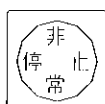
火災を発見したら、駐車装置内に人がいないこと確認の上、消火設備二酸化炭素起動盤の封印を破り、蓋を開け、起動（消火）ボタンを押してください。

（詳しくは本書「3. 消火設備について」および別紙の消火設備取扱説明書をご参照ください。）



◎火災発生時駐車場内に人が閉じ込められた時

非常停止押ボタンを押し、避難口誘導灯取付付近の避難口より駐車装置外へ避難させてください。



◎駐車場で事故が発生した時

運転操作盤または、駐車装置内の非常停止ボタンを押してください。

また速やかに、なるべく詳しい状況をメンテナンスサービス会社に連絡するようお願いいたします。

5. 「故障かな？」と思ったら

駐車装置の操作ができない場合、操作盤の呼びページ表示器に番号を表示します。

メンテナンスコールをする前に、もう一度確認してください。

以下は駐車装置の状態です。

原因、処置は次の通りです。(多くの場合以下の処置で操作可能になります。)

番号	状態内容	原因	処置
60	方向転換装置 待機定停止位置ずれ	方向転換装置の旋回および昇降、横行、 固定の各装置が待機定位置以外で停止 している。 運転中に非常停止ボタンを押した。 運転中に光電センサーが作動した。 各装置の故障。	旋回装置運転ボタンを押して待機位置ま で運転する。 上記を行っても不具合の時はメンテナ ンスコール。
62	固定装置 停止位置ずれ	固定運転中に非常停止ボタンを押した。 固定運転中に光電センサーが作動した。 固定運転時間が規定より長い。 固定装置の故障。 固定装置リミットスイッチ故障。	旋回装置運転ボタンを押して待機位置ま で運転する。 上記を行っても不具合の時はメンテナ ンスコール。
64	横行装置 停止位置ずれ	横行運転中に非常停止ボタンを押した。 横行運転中に光電センサーが作動した。 横行運転時間が規定より長い。 横行装置の故障。 横行装置リミットスイッチ故障。 横行中央検出光電センサー故障。 横行中央検出光電センサー用反射ミラー 不良。	旋回装置運転ボタンを押して待機位置ま で運転する。 上記を行っても不具合の時はメンテナ ンスコール。
67	昇降装置 停止位置ずれ	昇降運転中に非常停止ボタンを押した。 昇降運転中に光電センサーが作動した。 昇降運転時間が規定より長い。 昇降装置の故障。 昇降装置リミットスイッチ故障。	旋回装置運転ボタンを押して待機位置ま で運転する。 上記を行っても不具合の時はメンテナ ンスコール。
68	旋回装置 停止位置ずれ	旋回運転中に非常停止ボタンを押した。 旋回運転中に光電センサーが作動した。 旋回運転時間が規定より長い。 旋回装置の故障。 旋回装置リミットスイッチ故障。	旋回装置運転ボタンを押して待機位置ま で運転する。 上記を行っても不具合の時はメンテナ ンスコール。

番号	状態内容	原因	処置
69	ドアガード 停止位置ずれ	ドアガード運転中に非常停止ボタンを押した。 ドアガード運転中に光電センサーが作動した。 ドアガード定位置リミットスイッチ故障。	旋回装置運転ボタンを押して待機位置まで運転する。 上記を行っても不具合の時はメンテナンスコール。
79	循環停止位置ずれ	循環装置が途中で停止した。 運転中に駐車場内に立ち入った。 運転中に非常停止を押した。 ブレーキ不良により停止位置がずれた。	再度呼び運転を行い、定位置に止める。 一旦呼びケージ以外を呼出した上で、再度希望ケージを呼出す。 上記を行っても不具合の時はメンテナンスコール。
80	入庫インターロックオン	人または自動車が駐車場内に入ったまま退出又は出庫していない。 光電センサーの不良、誤検出。	駐車場内より退出する。 一旦、駐車場中程まで入って安全を確認後、駐車場外へ退出する。
81	奥側光電センサー動作 (PI1)	自動車を前に出しすぎたまま駐車した。 光電センサー光軸上に障害物がある。 光電センサーの不良、誤動作。	自動車を正規位置まで後退させる。 光電センサー光軸上の障害物を確認し、不具合原因を取除く。 上記を行っても不具合の時はメンテナンスコール。
83	手前側光電センサー動作 (PI3)	自動車を定位置より手前に駐車した。 光電センサー光軸上に障害物がある。 光電センサーの不良、誤動作。	自動車を正規位置まで前進させる。 光電センサー光軸上の障害物を確認し、不具合原因を取除く。 上記を行っても不具合の時はメンテナンスコール。
84	出入口光電センサー動作 (PI4)	光電センサーを遮る物が置かれている。 光電センサー光軸上に障害物がある。 光電センサーの不良、誤動作。	障害物を取除く。 光電センサー光軸上の障害物を確認し、不具合原因を取除く。 上記を行っても不具合の時はメンテナンスコール。

番号	状態内容	原因	処置
86	ドア開放検出光電センサー動作 (PI6A、PI6B)	自動車のドアが開いている。 光電センサーの不良、誤動作。	自動車のドアを閉じる。 光電センサーを確認し、不具合原因を 除く。 上記を行っても不具合の時はメンテナ ンスコール。
87	出入口扉光電センサー動 作	光電センサーを遮る物が置かれている。 光電センサーの不良、誤動作。	障害物を取除く。 光電センサーを確認し、不具合原因を取 除く。 上記を行っても不具合の時はメンテナ ンスコール。
94	出入口扉故障	パネル扉開閉の障害となる物が置いてあ る。 扉のリミットスイッチ故障。 扉のモータ、制御盤の故障。	障害物を取り除き、非常停止ボタンを押し て右へ回して復旧。 上記を行っても不具合の時はメンテナ ンスコール。
97	非常停止	非常停止ボタンを押した。	非常停止押ボタンを右(リセット方向)に 回して復旧。 上記操作しても不具合の時はメンテナ ンスコール。

以下は駐車装置の故障です。

原因、処置は次の通りです。(この番号の場合、メンテナンスコールが必要です。)

番号	状態内容	原因	処置
61	固定装置 上行き過ぎ検出リミット スイッチ動作	固定上検出リミットスイッチ動作。	メンテナンスコール
63	横行装置 出過ぎ検出リミットスイ ッチ動作	横行中央検出光電センサー不良。 同光電センサー用反射ミラー不良。	メンテナンスコール
65	昇降装置 上行き過ぎ検出リミット スイッチ動作	上昇位置リミットスイッチ故障。	メンテナンスコール
66	昇降装置 下行き過ぎ検出リミット スイッチ動作	下降位置リミットスイッチ故障。	メンテナンスコール
70	サーマルリレー動作	電動機の過負荷等によりサーマルリレー が動作した。	メンテナンスコール
85	直立検出光電センサー 動作(PI5A、PI5B)	自動車のドアが開いてドアガードが機械 的にひっかかって直立しない。 光電センサーの不良、誤動作。 反射ミラーのくもり。	メンテナンスコール
90	循環渋滞検出	循環運転指令をしても運転しない。 循環速度が規定より遅い。 循環停止リミットスイッチの故障。 循環電動機ブレーキの故障。 主回路配線の不良、単相運転等。 マグネットスイッチリレーの故障。	メンテナンスコール
91	循環減速渋滞	循環減速指令が出て一定時間を経過して も減速しない。	メンテナンスコール
92	ドアガード故障	ドアガード停止リミットスイッチの故障。 ドアガード用パワーシリンダの故障。	メンテナンスコール
93	二重呼び	暗証番号の一致する呼びケージが2台以 上ある。	メンテナンスコール
95	循環近接スイッチ故障	近接スイッチの故障。	メンテナンスコール
98	シーケンサ電池なし	シーケンサ記憶用バッテリー容量低下。	メンテナンスコール
99	シーケンサ CPU 故障	シーケンサ異常出力動作。 入出力ユニット不良。	メンテナンスコール

AT PARK

日本ケーブル株式会社

メンテナンスコール（緊急時）のご連絡は
日本ケーブル株式会社 オートタワーサービス
TEL 03-3292-1222

2011.05 LA11011